

平成23年度 第1回

# 山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 平成23年度 考古博物館経過事業について
  - (2) 平成23年度 考古博物館予定事業について
  - (3) 平成24年度 第30回特別展について
  - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

平成23年11月16日(水)

山梨県立考古博物館  
風土記の丘研修センター

# 資料目次

◇ 平成23年度 考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
(1) 第29回特別展	
(2) 企画展	
2 学習会・講座など	2
(1) 講演会	
(2) 史跡文化財セミナー	
(3) 考古学講座	
(4) チャレンジ博物館	
(5) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～	
(6) 縄文土器づくり教室	
(7) 原始・古代の技術体験学習	
3 イベント	3
(1) 第23回風土記の丘こどもまつり	
(2) 特別展関連イベント	4
(3) 「考古博物館の日」のイベント	
(4) 縄文王国山梨イベント	
(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加	
(6) 夏休みフリーパスポートに関するイベント	
(7) 2011風土記の丘・曾根丘陵公園 秋のふれあい祭り…	5
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ	
5 古代衣装貸し出し	
6 ボランティアガイドの実施	
◇ 考古博物館利用状況の推移	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	6
(2) 特別展観覧者数	7
(3) 学校関係利用状況	8
(4) 総利用者数	9
◇ 平成23年度 考古博物館予定事業について	
1 展示活動	10
2 学習会・講座など	
3 イベント	11
◇ 平成24年度考古博物館特別展予定について	
◇ その他（指定管理者制度の概要）	12
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	13
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	14

## ◇ 平成23年度考古博物館経過事業について

### 1 展示活動

#### (1) 第29回特別展

テーマ：『縄文土器名宝展～縄文芸術の到達点～』

入館者5,505人(11月15日現在)

会期：平成23年9月28日(水)～11月23日(水)50日間(月曜休館)

会場：山梨県立考古博物館

概要：山梨県は縄文時代遺跡が1900ヶ所も知られ、縄文文化が最も栄えた地域の一つである。縄文文化は、東日本で卓越して繁栄し、中期(約5,000年前)に隆盛期を迎えた。特に関東甲信越から東北南部にかけての地域で、装飾性に優れ、芸術性が高い土器文化が発達し、縄文芸術の到達点というべき絢爛豪華な文様で飾られた土器が豊富に出土している。そこで、この地域の縄文時代中期の国指定重要文化財を中心に展示し、各地域の土器文化の独自性と奥深さを示し、豊かな縄文文化の認識を高めるとともに、山梨の縄文文化の独創性と卓越性について、より広く理解していただく機会とする。

#### (2) 企画展

① 春季企画展『古代の台所～縄文土器から圧力鍋まで～』 入館者7,463人

会期：4月23日(土)～6月26日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：縄文時代から現代までの煮炊き用土器などの台所用品について、県内出土品を展示した。

② 夏季企画展『大陸から伝わった器～山梨の須恵器Ⅱ～』 入館者4,603人

会期：7月16日(土)～8月31日(水)

会場：考古博物館特別展示室

概要：平成18年度に開催した「山梨の須恵器」に続く第2弾。大陸から製法が伝わった須恵器について、古墳時代から平安時代までの県内出土品の変遷を展示した。

③ 『山梨の遺跡展2011』 入館者 663人

会期：3月10日(土)～4月8日(日)

会場：考古博物館特別展示室

共催：山梨県埋蔵文化財センター

概要：平成22年度に、山梨県埋蔵文化財センターが発掘調査した遺跡や市町村教委が調査し話題となった遺跡の出土品や写真パネルで速報展示した。

## 2 学習会・講座など

### (1) 講演会

特別展に関連した話題で、最先端の研究者を講師として招いて講演会を開催した。

- 事前講座 9月4日(日) 『縄文土器名宝展のみどころ』 受講者44人  
当館学芸課長 保坂 康夫
- 特別講演第1回 10月9日(日) 『岡本太郎が発見した縄文芸術』 受講者51人  
県立美術館学芸員 春原 史寛氏
- 特別講演第2回 10月30日(日) 『縄文土器の造形から読む縄文人の心』 受講者61人  
國學院大學教授 谷口 康浩氏
- 特別講演第3回 11月13日(日) 『縄文文様を分解する』 受講者81人  
山梨県埋蔵文化財センター副主幹・文化財主事  
今福 利恵氏

### (2) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めてもらった。

- 第48回 4月17日(日) 『於曾屋敷と武田ゆかりの寺院』 参加者25人  
講師：甲州市教育委員会 飯島泉氏
- 第49回 6月12日(日) 『天狗沢瓦窯跡と往生塚古墳』 参加者27人  
講師：甲斐市教育委員会 大寫正之氏
- 第50回 7月31日(日) 『河口浅間神社と周辺の文化財』 参加者37人  
講師：富士河口湖教育委員会 杉本悠樹氏
- 第51回 10月23日(日) 『甲斐風土記の丘の古墳群』 参加者21人  
講師：当館学芸員 石神孝子

### (3) 考古学講座

- 第1回 6月5日(日)  
『お鍋とお釜の考古学～土器からみる煮沸具の変遷～』 受講者39人  
帝京大学山梨文化財研究所研究室長 櫛原功一氏
- 第2回 6月26日(日)  
『生ゴミの考古学～骨から探る古代の食生活～』 受講者48人  
県立博物館学芸員 植月学氏
- 第3回 7月17日(日)  
『縄文土器の作り方～土器の製作実験から～』 受講者40人  
北杜市教育委員会 村松佳幸氏
- 第4回 8月7日(日)  
『大陸から伝わった器～須恵器の登場と消長～』 受講者49人  
当館学芸員 石神孝子

(4) チャレンジ博物館（風土記の丘研修センター）

小中学生を対象に、学校の休業日である土曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。

第1回	5月15日（日）	『弥生時代の矢じりをつくろう』	参加者19人
第2回	6月19日（日）	『縄文時代の布を編んでみよう』	参加者9人
第3回	7月3日（日）	『縄文時代のかごをつくろう』	参加者19人
第4回	7月17日（日）・24日（日）・8月7日（日）	『縄文土器をつくろう』	参加者66人（延べ人数）
第5回	8月21日（日）	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者27人
第6回	10月2日（日）	『縄文土器をつくろう』	参加者19人
第7回	10月23日（日）	『縄文人のごちそうどんぐりを味わってみよう』	参加者10人
第8回	11月6日（日）	『ユニークな土偶をつくろう』	参加者12人

(5) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）

第1回	4月23日（土）	『第1回勾玉作り』	参加者4人
第2回	5月14・22日（土）	『第1回青銅器作り』	参加者12人
第3回	6月4・11・25日（土）	『第1回縄文土器作り』	参加者26人
第4回	7月9日（土）	『第1回トンボ玉作り』	参加者5人
第5回	8月13日（土）	『第1回草木染め』	参加者15人
第6回	9月3・11日（土）	『第2回青銅器作り』	参加者8人
第7回	10月15日（土）	『第2回勾玉作り』	参加者4人
第8回	10月29日（土）	『第2回トンボ玉作り』	参加者5人
第9回	11月5日（土）	『第3回トンボ玉作り』	参加者6人

(6) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業；常時対応）

（10月末現在）

① 勾玉作り	参加者2,521人
② 火起こし体験	参加者6,116人
② 青銅鏡	参加者1人
④ 土鈴	参加者80人

### 3 イベント

(1) 第23回風土記の丘こどもまつり

参加者 1,457人

5月3日（火）・4日（水） 風土記の丘研修センター内と前庭など  
勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、ペーパークラフト、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 特別展関連イベント

特別展開催期間中に、イベントを開催。

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| 11月 3日(水)「縄文土器で煮てみよう」       | 参加者 57人 |
| 10月22日(土)「縄文満喫」(縄文王国巡回イベント) | 参加者108人 |

(3) 「考古博物館の日」のイベント

第4土曜日を「考古博物館の日」と銘打ち、エントランスホールでミニイベントを実施。

- |                        |         |
|------------------------|---------|
| 4月23日「古代の衣装を着てみよう」     | 参加者 12人 |
| 5月28日「土器で煮てみよう、炊いてみよう」 | 参加者 50人 |
| 6月25日「土器カードをつくろう」      | 参加者 4人  |
| 7月30日「考古博物館まると探検隊」     | 参加者 43人 |

(4) 縄文王国山梨イベント

考古博物館と北杜市考古資料館、韮崎市民俗資料館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、富士吉田市歴史民俗博物館の7館が連携して実行委員会を構成して、巡回イベントや巡回展示など、共同開催イベントを実施。

① 巡回イベント

- |  |         |
|--|---------|
| 8月 7日(日) 韮崎市民俗資料館                        | 参加者 35人 |
| 縄文服試着、弓矢体験、木の実割り体験、土偶づくり等                |         |
| 8月21日(日) 南アルプス市ふるさと文化伝承館                 | 参加者182人 |
| 縄文服試着、弓矢体験、木の実割り体験、土偶づくり等                |         |
| 10月22日(土) 考古博物館                          | 参加者108人 |
| 縄文・古代服試着、弓矢体験、クイズラリー、縄文ぬりえ、縄文土器にさわってみよう等 |         |

② 巡回展示

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| 6月4～19日(計14日間) 富士吉田市歴史民俗博物館       | 入館者410人 |
| 各館資料2～4点と、縄文土器展開写真や各館の紹介パネルを展示した。 |         |

③ バスツアー

- |   |         |
|---|---------|
| 11月12日(土) 考古博物館・釈迦堂遺跡博物館・南アルプス市ふるさと文化伝承館をめぐるバスツアーを実施。 | 参加者 49人 |
|---|---------|

④ 縄文王国マップの作成

構成7館の情報がいったパンフレットを作成し、各館で配布した。

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。考古博では縄文土器拓本体験のコーナーを出店。

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 7月18日(月) アイメッセ山梨(甲府市) | 参加者 60人 |
|-----------------------|---------|

(6) 夏休みフリーパスポートに関するイベント

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験とトンボ玉作りを実施。

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ① 『土器の拓本カードをつくろう!』 | 参加者302人 |
| ② 『トンボ玉をつくろう!』     | 参加者 94人 |

- ③ 『古代の火おこし!』 参加者 15人
- ④ 『勾玉をつくろう!』 参加者 220人
- ⑤ 『青銅鏡をつくろう!』 参加者 19人
- ⑥ 『銅鐸をつくろう!』 参加者 14人

- (7) 2011風土記の丘・曾根丘陵公園 秋のふれあい祭り 参加者1,508人  
 10月16日(日) 風土記の丘研修センター内と前庭等  
 曾根丘陵公園指定管理者(富士観光開発・富士グリーンテックグループ)との共  
 催事業。勾玉作り、古代火起こし体験、拓本体験、ディスクドッグショー、ヴァ  
 ン君と記念撮影、屋台村(軽食コーナー)等

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生  
 による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れている。

職場体験 中学校11校 28人  
 インターンシップ 高校1校 3人  
 学芸員実習 2人

5 古代衣装貸し出し(11~2月)

弥生~古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳~奈良  
 時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

県内2校(小学校1校、中・高等学校1校)  
 イベント関連で県内1ヶ所に貸し出し

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示  
 解説を実施。現状5名。

- 4月- 2日間(延べ 2名;開館日数25日)
- 5月- 13日間(延べ16名;開館日数26日)
- 6月- 9日間(延べ 9名;開館日数26日)
- 7月- 10日間(延べ13名;開館日数27日)
- 8月- 10日間(延べ11名;開館日数27日)
- 9月- 7日間(延べ 7名;開館日数21日)
- 10月- 10日間(延べ11名;開館日数27日)

◇ 考古博利用状況の推移

次の項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 観覧者数(常設展・特別展)
- (2) 特別展観覧者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 総利用者数

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成23年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館 日数	常 設 展										特別展	合 計 (常設+特別)	累 計			
		個 人		団 体		割引(校外券・宿泊等)		旅行社・一般		小・中・高					計		
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)		教育課程	招待者
57	115	12,017	3,412	6,885	538									4,130	3,705	30,687	30,687
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742									8,744	3,981	48,795	87,877
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276									9,327	2,540	40,722	133,838
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116									7,533	2,660	35,628	173,481
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651									7,471	3,793	38,106	221,601
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951									8,957	2,558	38,880	263,998
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667									7,613	3,916	39,554	308,675
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332									7,147	2,982	42,682	356,982
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700									10,504	2,807	47,602	411,181
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541									8,975	3,684	44,935	461,905
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046									6,807	3,610	40,795	508,874
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211									8,164	3,492	40,640	554,105
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216							48		7,388	3,708	35,036	595,427
7	291	12,579	2,749	1,548	5,076								11,230	6,845	3,573	47,962	733,471
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089								3,455	4,908	2,910	30,950	843,904
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594								2,633	4,125	2,442	25,575	813,674
10	290	7,057	1,566	556	5,410								3,596	4,166	2,283	25,080	851,919
11	288	6,283	1,705	521	4,208								2,339	4,409	1,839	21,636	880,367
12	288	5,616	1,459	797	2,858								3,201	3,919	1,877	20,094	909,688
13	292	5,717	1,560	800	2,271								2,517	3,683	1,191	17,989	933,712
14	289	5,423	1,398	396	2,598								2,670	3,397	1,428	17,879	957,964
15	290	4,444	1,312	479	2,379								2,887	3,465	1,065	16,602	982,693
16	298	4,377	1,141	557	1,822								2,397	3,519	1,202	15,346	1,003,103
17	296	4,432	1,105	307	2,874								3,265	3,093	1,039	16,555	1,024,812
18	300	4,876	1,222	326	3,543	32	5						2,844	3,145	1,863	18,428	1,047,853
19	301	17,512	7,004	346	3,482	287	30	38	78	608	35		11,546	3,139	2,070	50,887	1,149,981
20	298	4,548	2,187	229	4,276	1,098	158	17	63	261	63		2,944	3,919	2,268	22,493	1,179,023
21	290	4,537	2,524	212	3,854	938	69	14	43	271	43		3,049	3,553	2,429	21,847	1,205,938
22	300	3,858	1,968	305	4,128	716	58	78		270	270		2,562	3,798	2,433	20,570	1,230,837
23	182	2,511	1,736	157	5,164	674	43		140	126	126		1,553	3,456	2,330	18,563	1,253,735
計	8,548	302,010	92,138	75,453	128,713	3,745	373	147	324	1,571	324		64,736	14,723	77,678	932,518	1,253,735



# 特別展観覧者数

平成23年10月末日現在 (単位:人)

年度	開催 日数	個人		団体		割引制度(校外券・宿泊等)	前売券	旅行会社 クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	内 容
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高											
58	46	2,807	723	1,405	215							1,800	1,445	8,395	183	1 土俵
59	35	1,840	308	926	26							1,194	945	5,239	150	2 縄文時代の酒道具
60	37	1,362	161	832	36							785	839	4,015	109	3 山梨の中世陶磁
61	56	3,232	520	1,065	8							2,585	2,604	10,014	179	4 古代甲斐国と畿内王権
62	29	1,461	274	317	28							571	866	3,517	121	5 古代官道と甲斐の文化
63	28	1,924	242	359	24							1,008	1,566	5,123	183	6 古代の装身具
1	31	1,098	264	616	316							2,522	809	5,625	181	7 一粒の初展
2	36	1,503	242	448	81							3,549	774	6,597	183	8 古墳時代が聞こえる
3	36	1,100	199	350	3							3,318	819	5,789	161	9 縄文土器その心象世界
4	36	2,263	344	414	115							1,903	1,135	6,174	172	10 天下人の時代
5	35	840	101	231								2,446	973	4,591	131	11 山梨の経塚
6	36	2,414	534	96								1,947	1,295	6,286	175	12 古墳時代の甲冑
7	44	55,623	9,554	1,943	576					10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13 黄金の都シカルの発掘展
8	32	7,999	1,432	259	219					982	608	2,140	420	14,059	439	- ネアンデルタール人の復活展
9	19	1,268	178	92						583	125		2,178	4,424	233	14 新発見考古速報展
9	33	1,683	167	189						587	62	737	1,770	5,195	157	15 韓国・中清北道の古代文化展
10	44	5,173	883	151	458					1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16 遙かなるエジプト展
11	39	1,985	394	166	457					611	87	1,634	1,478	6,812	175	17 縄文の旅
12	39	2,842	383	179	173					1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18 中国四川省古代文物展
13	44	1,555	309	205	205					721	92	1,913	1,035	6,035	137	19 黄金の輝き
14	38	1,884	449	274	89					737	142	1,423	1,375	6,373	168	20 技と美の誕生
15	38	1,965	133	126						1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21 大トルコ展
16	46	1,052	116	285	14					615	81	1,745	1,156	5,064	110	22 縄文の女神展
17	58	942	167	206	234					828	109	1,805	863	5,154	89	23 山の民と海の民
18	51	993	191	115	42					802	83	1,546	812	4,613	90	24 甲府盆地から見たヤマト
19	52	12,958	2,908	498	355			18	506	9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25 世界遺産ナスカ展
20	55	647	428	164	592				126	874	90	1,628	905	6,549	119	26 埋められた財宝
21	51	605	420	39	351			14	116	667	68	748	1,128	5,068	99	27 卑弥呼時代の黄泉世界
22	51	453	236	40	390				112	652	44	961	751	4,329	85	28 発掘された女性の系譜
23	30	248	149	64	1,124				65	448	94	895	664	4,335	145	

※平成23年度特別展の開館日数は50日

# 学校関係利用状況

平成23年10月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外						合計	
	小学校		中学校		高校		計		小学校		中学校		高校		計			
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141
23	54	2,860	13	467	4	129	71	3,456	64	4,694	8	922			72	5,616	143	9,072
計	1,319	76,762	252	10,563	74	3,181	1,645	90,506	943	67,820	188	17,042	48	3,380	1,179	88,242	2,824	178,748

(参考) H22年10月末現在

43	2,268	10	541	3	81	56	2,890	48	3,270	12	1,073	60	4,343	116	7,233
----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成23年10月末日現在 (単位:人、%)

項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	増減率		事業内容
					対前年度 10月末	3か年平均 10月末	
常設展 観覧者数	22,493	21,847	20,570	18,563	14.0	9.4	
特別展 観覧者数	6,549	5,068	4,329	4,335	90.3	46.8	
企画展 観覧者数	15,318	15,629	14,657	12,066	7.2	2.8	春季・夏季・冬季企画展、新年干支展、わたしたちの研究室(展示)、山梨の遺跡展
主催事業 参加者数	14,565	14,162	14,871	18,498	54.2	51.2	
講座等	439	565	416	442			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別講演会
ものづくり教室	376	381	407	248			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	10,398	8,480	8,253	8,718			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、織布、青銅講等)
イベント等	2,197	3,548	4,387	7,633			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(アイカセ)、夏休みフリーパスポート、こころはくdeタッチ&トーク、縄文王国関連イベント、県民の日イベント、特別展関連イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式・発表会、ひらけ!玉手箱(甲府城跡)、風土記の丘秋のふれあい祭り、落ち葉で、焼き芋!!in曾根丘陵公園 等
風土記の丘こどもまつり	1,155	1,188	1,408	1,457			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	3,390	4,254	3,844	2,215	9.2	4.2	
風土記の丘望見展観覧者数	325	477	648				(2月~3月開催)
施設利用	3,065	3,777	3,196	2,215			講堂、研修室、テニスコート
総利用者数	62,315	60,960	58,271	55,677	27.0	21.0	

## ◇ 平成23年度考古博物館予定事業について

### 1 展示活動

- ① 冬季企画展『甲州市内の出土品～勝沼氏館跡の発掘調査～』  
会 期：12月10日（土）～平成24年1月29日（日）  
会 場：考古博物館特別展示室  
概 要：甲州市教育委員会が実施した発掘調査の出土品を展示する。今回は、国指定史跡勝沼氏館跡の発掘品を中心とする。
  
- ② 『新年干支展』  
会 期：1月2日（月）～1月29日（日）  
会 場：考古博物館エントランスホール
  
- ③ 第9回『わたしたちの研究室』  
会 期：2月7日（火）～3月4日（日）  
会 場：考古博物館特別展示室
  
- ④ 風土記の丘望見展「弥生時代の輝き展」  
会 期：2月1日（水）～3月20日（火）  
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
  
- ⑤ 『山梨の遺跡展2012』  
会 期：3月10日（土）～4月8日（日）  
会 場：考古博物館特別展示室  
共 催：山梨県埋蔵文化財センター

### 2 学習会・講座など

#### (1) チャレンジ博物館

- |      |             |                 |
|------|-------------|-----------------|
| 第10回 | 12月4・18日（日） | 『古代の青銅鏡をつくろう』   |
| 第11回 | 1月 8日（日）    | 『干支の土鈴をつくろう』    |
| 第12回 | 2月 5日（日）    | 『古墳時代のはにわをつくろう』 |

#### (2) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

- |      |               |             |
|------|---------------|-------------|
| 第10回 | 11月19日（土）     | 『第2回草木染め』   |
| 第11回 | 12月3・11日（土・日） | 『第3回青銅器作り』  |
| 第12回 | 1月14日（土）      | 『第3回勾玉作り』   |
| 第13回 | 1月21・22日（土・日） | 『第3回草木染め』   |
| 第14回 | 2月4・11・25日（土） | 『第2回縄文土器作り』 |
| 第15回 | 3月17・25日（土）   | 『第4回青銅鏡作り』  |

### 3 イベント

#### (1) 県民の日イベント

11月20日(日)「縄文土器拓本体験」

#### (2) 古代のもちつき

1月2・3日(日・月)

#### (3) わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月5日(日)

#### (4) 「考古博物館の日」のイベント

1月28日「考古博物館でお宝発見」

2月25日「考古博冬まつり」

#### (5) 縄文王国山梨関連イベント

① 巡回イベント 1月29日(日) 釈迦堂遺跡博物館

② 巡回展示 12月中旬～1月中旬 県立博物館

③ 縄文王国講座

12月23日 北杜市考古資料館

1月22日 韮崎市民俗資料館

2月18日 釈迦堂遺跡博物館

### ◇ 平成24年度特別展予定について

テーマ： 第30回特別展

『インカ帝国展～マチュピチュ「発見」100年～』

会期：平成24年9月18日(火)～11月14日(水) 50日間(月曜日休館)

会場：山梨県立考古博物館

概要：インカ帝国は、15～16世紀初頭、南アメリカのペルー、ボリビア、エクアドルにかけて成立し、最盛期には80の民族と1,600万人の人口をかかえた連邦国家とされる。巨大な石の建築と精密な石の加工などの技術、優れた土器や織物などの工芸品、ミイラなどの信仰、インカ道を含めたすぐれた統治システムなどが知られる。なかでも空中都市「マチュピチュ」は世界遺産であり、本遺跡を取り上げた展覧会は日本初である。考古博物館30周年を記念して、海外の優れた考古資料についての学習の機会を提供するとともに、世界遺産への関心を高め、登録にむけての理解を得る機会とする。

## 指定管理者制度の概要

- 平成15年6月の地方自治法の一部改正により、地方公共団体が設置する「公の施設(※1)」の管理運営について、地方公共団体の出資法人や公共的団体等により管理を委託できる「管理委託制度」から、株式会社等の民間事業者も含めた幅広い団体(個人は不可)が管理運営を行える「指定管理者制度」へ制度が改正された。
- その目的は「多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ること」とされている。

### <指定管理者制度と管理委託制度の違い>

項目	指定管理者制度	管理委託制度
管理主体	法人その他の団体(個人は不可)	出資法人(1/2以上出資等)、公共団体、公共的団体
法的性格	行政処分	委託契約
管理権限	指定管理者 地方公共団体が条例で定める業務(施設等の維持管理、使用許可等)の範囲に限る。 ただし、法令で長の権限とされているものを除く(使用料の強制徴収、不服申立てに対する決定、行政財産の目的外使用許可等)	地方公共団体の長 管理受託者は、地方公共団体の管理権限の下で、委託契約に基づき具体的な管理の事務・事業について執行する。
指定・委託の手続	指定に関する議会の議決(指定管理者名、指定の期間等)が必要 ・協定を締結	・議会の議決は不要 ・管理委託契約を締結
利用料金制度(※2)	条例に定めることにより導入できる	同左

(注) ※1 「公の施設」：地方自治法第244条第1項において、「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設」と定義されており、具体的には次のような施設 ①福祉施設 ②教育・文化施設 ③体育施設 ④その他(公園、公営住宅等)  
 ※2 「利用料金制度」：公の施設を使用する際に利用者が支払う料金を、地方公共団体を、指定管理者(管理受託者)の収入とすることができる制度(地方自治法第244条の2第8項)

# 山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十二年十月二十三日～平成二十四年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県PTA協議会	三井久美子	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員長	小川はるみ	学識経験者
委嘱	山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齋藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	鈴木郁子	学識経験者
委嘱	主婦 (山梨県女性団体連絡協議会理事)	廣瀬はるみ	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	佐藤ちか子	学校教育関係 (甲府市立石田小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	八巻良一	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	原 工	学校教育関係 (甲府市立北西中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会副会長	深沢信吾	学校教育関係 (県立桂高等学校校長)

(平成二十三年十一月現在)

## 山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年



## 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

### (趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

### (定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

### (定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

### (庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

### (委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

## ※ 参考

### 博物館法(抜粋)

#### (博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。